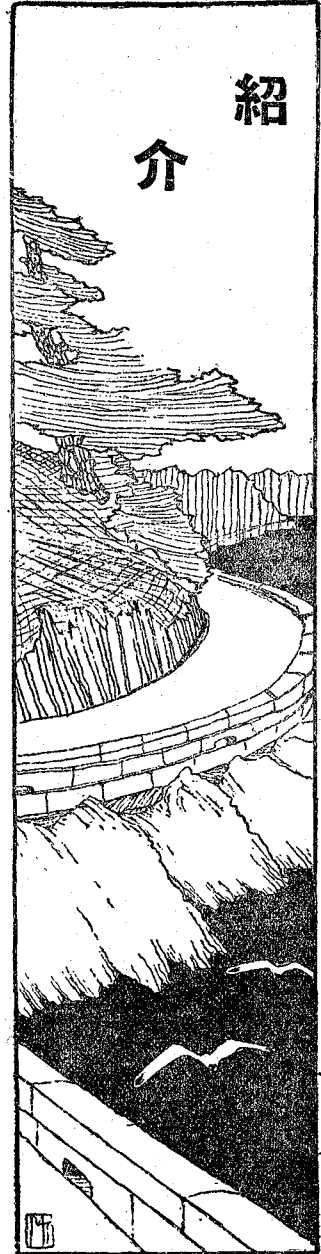


紹

介



濱名湖 橋梁架設工事概要

徳 永 軍 次

本道路並橋梁架設箇所は國道壹號線靜岡縣濱名郡新居町
地内濱名湖口を横斷するものにして従來渡船を以て連絡さ
れたるものなるが時世の要求に應じ昭和二年十一月本工事
に着手したり。今其の概要を記さん。

本工事の總工費は一、四三五、五六〇圓にして延長二、

六六〇間、橋梁三ヶ所、延長四六六間他は概ね築堤により
路面を構成するものなり。

以上之を二分して施工する豫定にて、現在工事施行中の
ものは其前半に屬す。前半に屬する工事は延長約一、〇四
〇間にして、之を道路七七四間、橋梁二六六間に分つを得。

以下此項に關する工事の概要を紹介せん。

(イ) 道路工事

路幅有效六間にて延長の約半分は湖水内に新に築堤するものにして、外海に面したる側を混凝土方塊二段積基礎とし、半徑二十尺の凹曲線よりなる石積とし、反對側は捨石基礎の上に高五尺の普通石積とし、其れ以上を一割五分の土羽法とす。

残半分は養漁池堤塘を利用し、之を被覆築堤するものなる故に前述後者の工法を施す。道路施工基面は内海なるため、波浪甚しからざるにより、平水面より最高十八尺最低十一尺なり。

築堤用土砂約一萬五千坪、石積平坪約千八百坪、何れも目下施工中なり。

(ロ) 橋梁工事(第三橋梁)

架設位置が濱名湖を背景とするが故に、橋梁の本質的條件たる耐久性以外更に湖面の風致を害せざる外觀をも考慮して、無鉸式鐵筋混凝土拱橋十三連(有効幅員四間)

を設定せられたり。

今其の重なる「データ」を掲ぐれば次の如し。

型式 無鉸式鐵筋混凝土拱橋

拱軸線の形 變垂曲線

徑間 一一五尺(計算上の)

拱矢 一一尺五

拱頂點肋厚 二尺二五

起拱點肋厚 四尺八

目下十二徑間の施工を了す(寫眞参照)

橋脚は鏡筋混凝土井筒沈下にして長徑三四尺三二短徑一二尺の橢圓形、長四十四尺、壁厚二尺のもの十二基を以てし、各基を四「ロット」に分割沈下したり。

地盤は砂及砂利交り砂等なり。

橋臺は長三七尺幅二九尺六の直線式にして杭打基礎を有す。地盤は橋脚と同様なり。

高欄は混凝土造にして別に裝飾を加へず、外側は拱側と同様荒叩とす。

路面鋪裝は「アスファルト、ブロック」を主とし取合に「クリンカー」を用ふ。前者の厚は五十耗、後者は七十耗を使用したり。

使用「セメント」總量道路橋梁を合せて約二〇、七〇〇樽、使用鐵筋總量(橋梁)八五八噸、鋪裝面坪一、一四七坪なり。

次上は總て工事中に屬し本年度内に完成の見込なるを以て、施工現場の紹介に止め、工事施工の詳細に就ては完成の上他日稿を改めて發表の機會を得ば幸なり。

×
×

堤胖君の優勝を詠みて

福岡縣土木課 千葉 三堂

福岡縣土木課員堤胖君は福岡、長崎對縣陸上競技大會に出場其の劈頭戰たる百米突競技に於て第一着を占め天晴れ福岡軍の爲めに萬丈の氣を吐きたりければ

つはものか勝を争ふその中に

先づ魁けし君ぞ雄々しき

久方の月の桂の譽をば

雄々しく得たる筑紫大丈夫ちくしだいぶと